



# 2005年度決算

2006年5月10日

住友商事株式会社

取締役社長 岡 素之

# 本日のトピックス

## 1. 2005年度決算総括

連結純利益1,602億円(前期比+88%増、3期連続過去最高益)

## 2. 2006年度業績予想

連結純利益1,700億円

(AG Planオリジナル計画1,200億円を上方修正)

## 3. 株主還元等

1株当たり年間配当金25円へ増配(前期:11円)、単元株引下げ

## 4. AG Planの進捗状況

収益基盤拡大の進捗状況、持続的な成長を目指して

### 将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

# 1. 2005年度決算総括 主要項目の実績

(億円)	期初計画	増加	見直し(05/10)	増加	実績
純利益	1,100	+300	1,400	+202	1,602
基礎収益	1,229	+226	1,455	+128	1,583
売上総利益	6,200	+400	6,600	+466	7,066
営業利益	1,350	+330	1,680	+81	1,761
持分法損益	450	+20	470	+44	514

基礎収益 = (売上総利益 - 販管費 - 利息収支 + 受取配当金) × 59% + 持分法損益

- 純利益1,602億円
- 収益基盤が順調に拡大

# 1. 2005年度決算総括 主要経営指標

	2004年度末	2005年度末	
総資産	5兆5,331億円	6兆7,119億円	<b>総資産: +1兆1,788億円</b> ・優良資産を積極的に積み増し (株価上昇及び為替の影響) (約4,200億円を含む)
株主資本	9,349億円	1兆3,040億円	
株主資本比率	16.9%	19.4%	
有利子負債(Net)	2兆3,760億円	2兆6,222億円	<b>株主資本: +3,691億円</b> ・利益の積み上げ ・株式の含み益増加 ・初の1兆円台
DER(Net)	2.5倍	2.0倍	
ROE	10.2%	14.3%	
ROA	1.6%	2.6%	
EPS	73円	130円	
BPS	777円	1,048円	

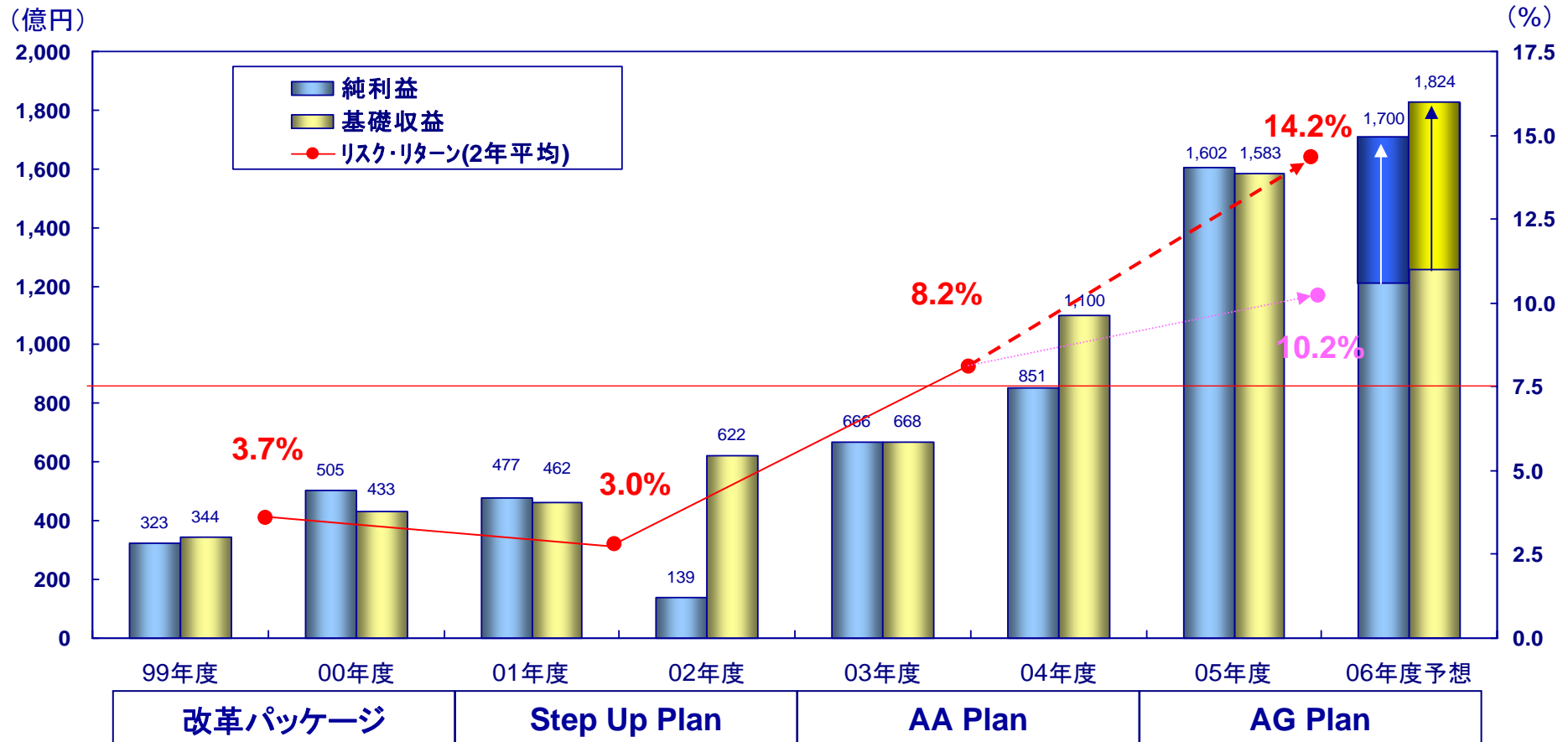
## 2. 2006年度業績予想 内外経済見通しと前提条件

世界経済：主要先進国では、幾分成長速度が鈍化するものの、  
中国・インド等の新興国の高成長により安定成長が持続  
日本経済：内外需ともに堅調に推移

計画の前提条件		2004年度 実績	2005年度 実績	2006年度 前提
為替 (YEN/US\$)【4-3月】		107.60	113.93	120
金利	LIBOR 6M (YEN)【4-3月】	0.07%	0.08%	0.40%
	LIBOR 6M (US\$)【4-3月】	2.3%	4.2%	5.3%
原油 <北海ブレント> (US\$/bbl)【1-12月】		38	55	48
原料炭 <強粘結炭> (US\$/MT)【4-3月】*		60前後	125前後	105~116程度
銅 (US ¢ /lb)【1-12月】		130	167	185

\*市場情報に基づく一般的な取引価格

## 2. 2006年度業績予想 2006年度オリジナル計画の上方修正



基礎収益 = (売上総利益 - 販管費 - 利息収支 + 受取配当金) × 59% (03年度以前は58%) + 持分法損益

- 2006年度純利益 : 1,200億円 ⇒ 1,700億円
- AG Plan 2年合計純利益 : 2,300億円 ⇒ 3,300億円
- AG Plan 2年平均リスク・リターン : 10.2% ⇒ 14.2%

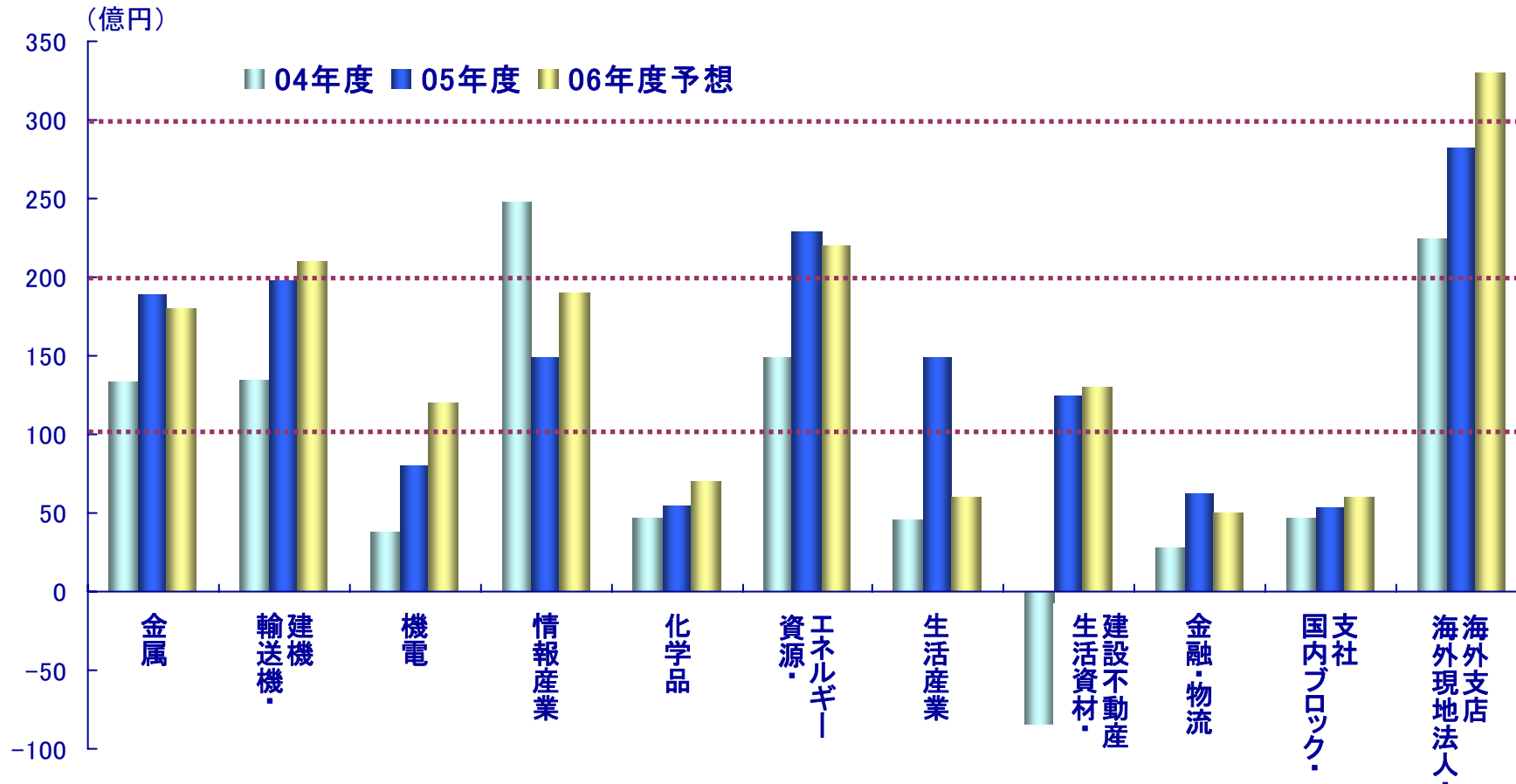
## 2. 2006年度業績予想 主要項目の見通し

(億円)	2005年度	増減	2006年度	増加率
純利益	1,602	+98	1,700	+6%
基礎収益	1,583	+241	1,824	+15%
売上総利益	7,066	+1,434	8,500	+20%
営業利益	1,761	+539	2,300	+31%
持分法損益	514	+36	550	+7%
その他損益	151	-151	0	-

基礎収益 = (売上総利益 - 販管費 - 利息収支 + 受取配当金) × 59% + 持分法損益

- 基礎収益(フローの収益力)は15%成長
- 純利益は4期連続最高益更新

## 2. 2006年度業績予想 セグメント別純利益



- バランスの取れた事業ポートフォリオ
- 06年度増益に貢献するセグメント:  
機電、情報産業、海外現地法人・海外支店



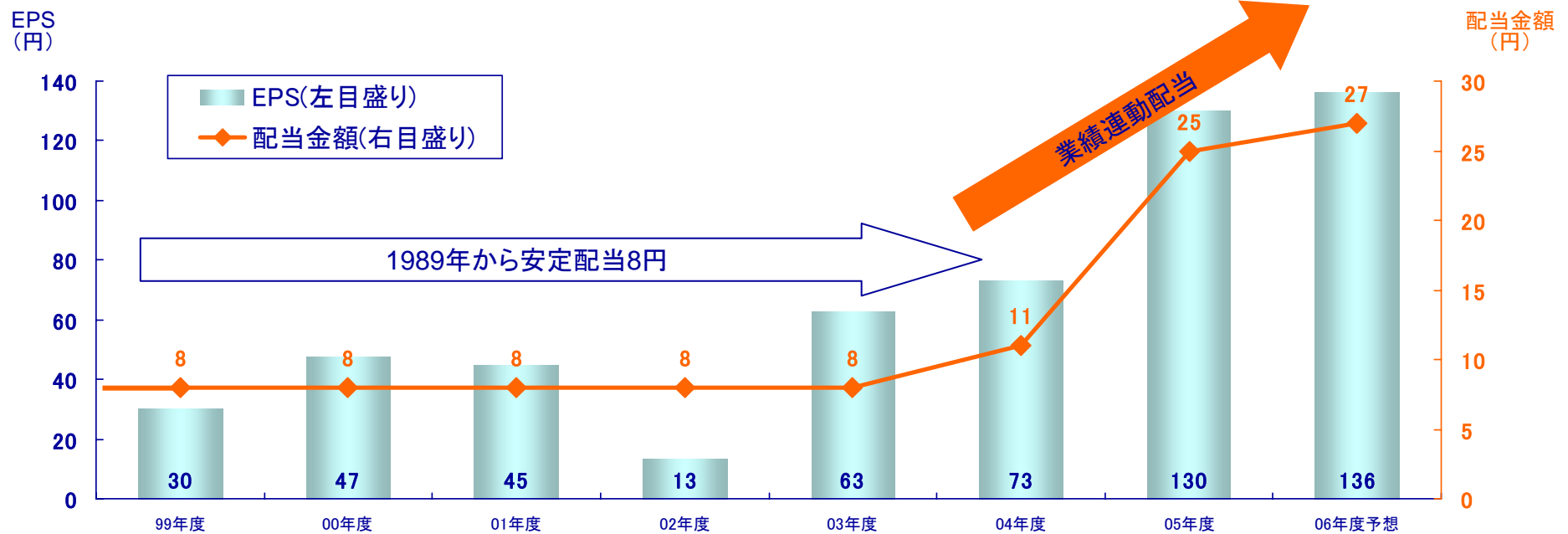
## 2. 2006年度業績予想 2006年度末の主要経営指標見通し

	レビュー後	オリジナル計画
総資産	7兆1,500億円	6兆3,000億円
株主資本	1兆4,500億円	1兆1,000億円
株主資本比率	20.3%	18.0%
有利子負債(Net)	2兆8,000億円	2兆8,500億円
DER(Net)	1.9倍	2.6倍
ROE	12.3%	11.0%
ROA	2.5%	2.0%

オリジナル計画を上回る収益基盤の拡大と財務体質の改善

### 3. 株主還元等 年間配当金

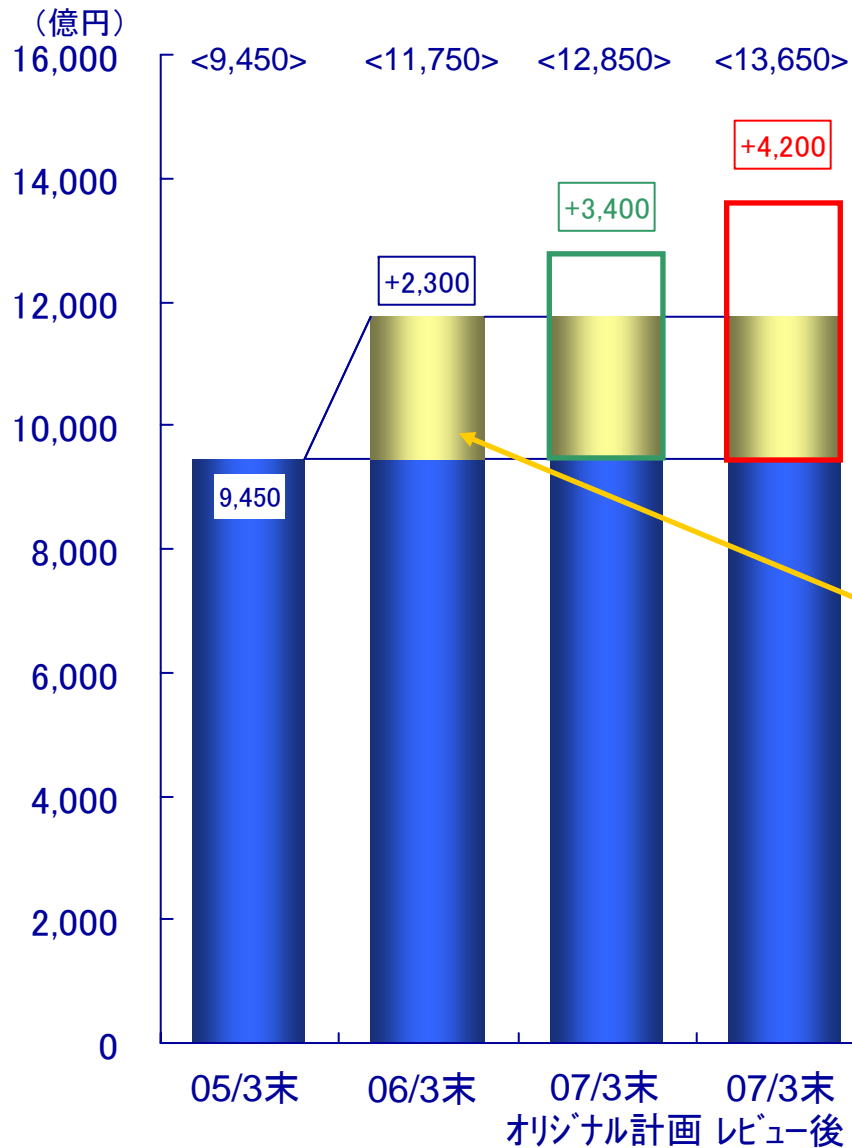
＜配当金額＞ 2005年度：25円、2006年度：27円（見込み）



＜単元株引き下げ＞

- 売買単位：1,000株⇒100株
- 2006年9月1日から適用

## 4. AG Planの進捗状況 リスクアセット計画



### ■ リスクアセット積み増し額

オリジナル計画  
+3,400億円

レビュー後  
+4,200億円

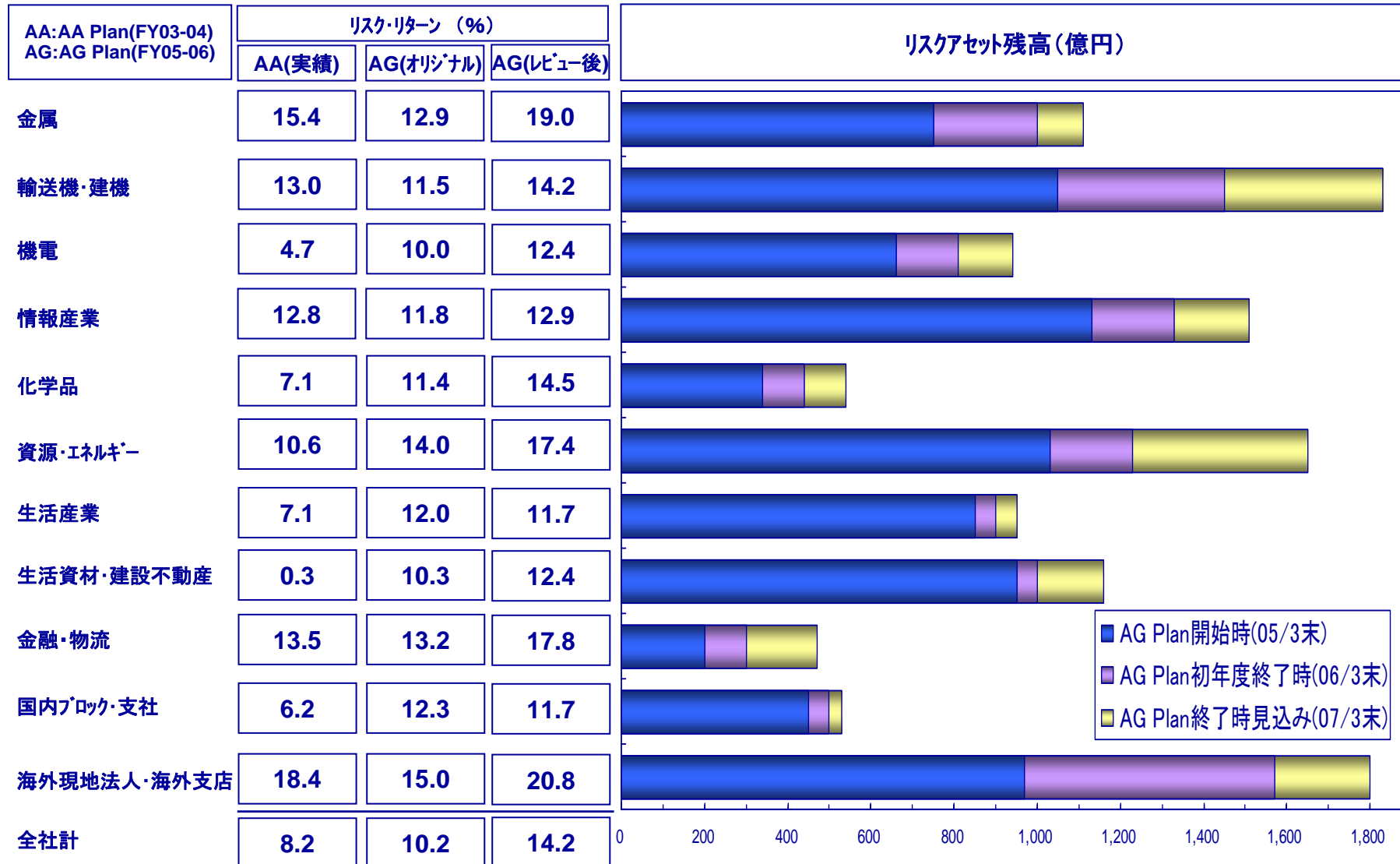
### ■ 05年度増加額: 約+2,300億円

- 戦略的投資・  
営業資産の増加 : 約+1,700億円
- 株価上昇・円安に伴う増加: 約+600億円

### ■ 06年度計画: 約+1,900億円

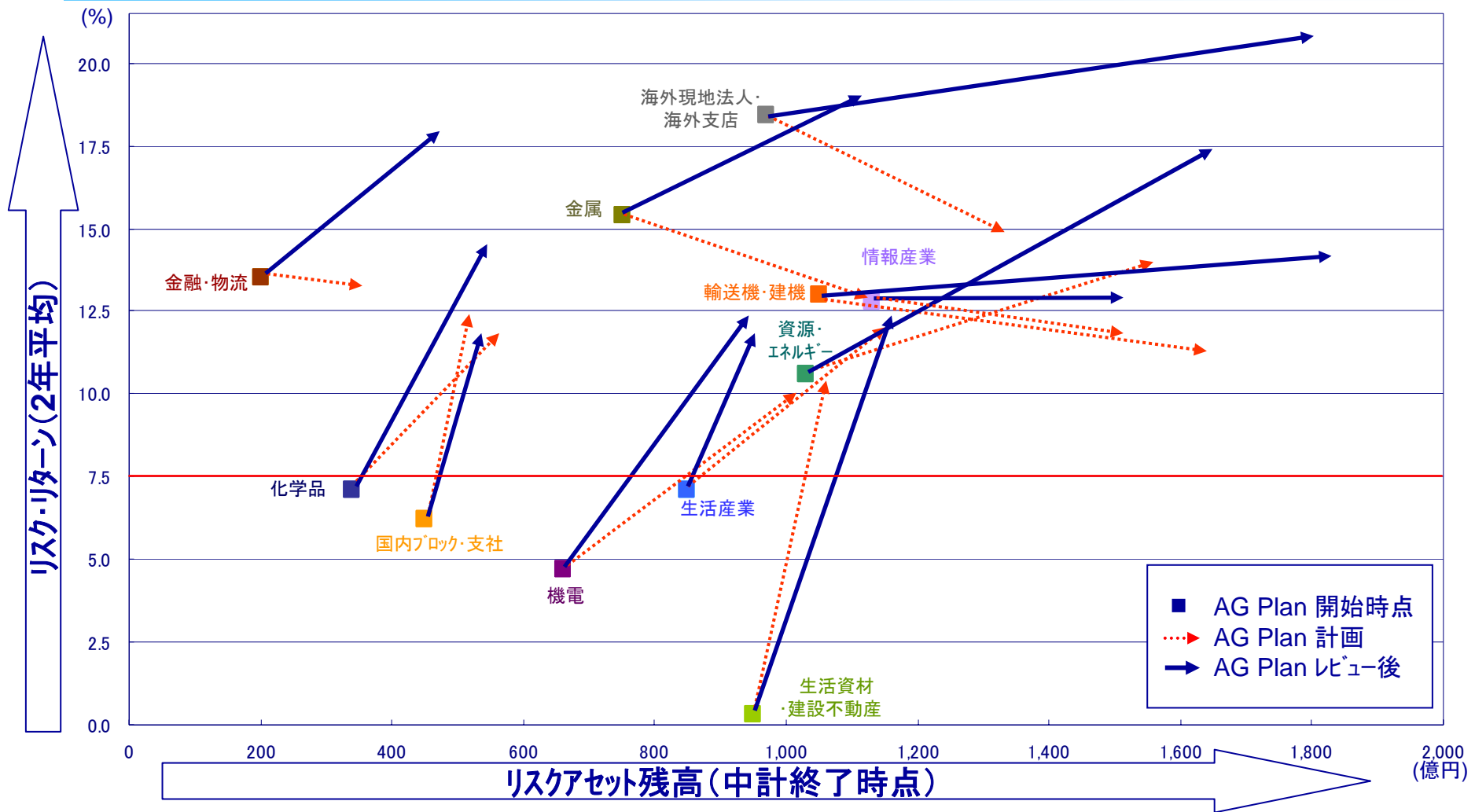
# 4. AG Planの進捗状況

## セグメント別リスクアセット/リスク・リターンのレビュー



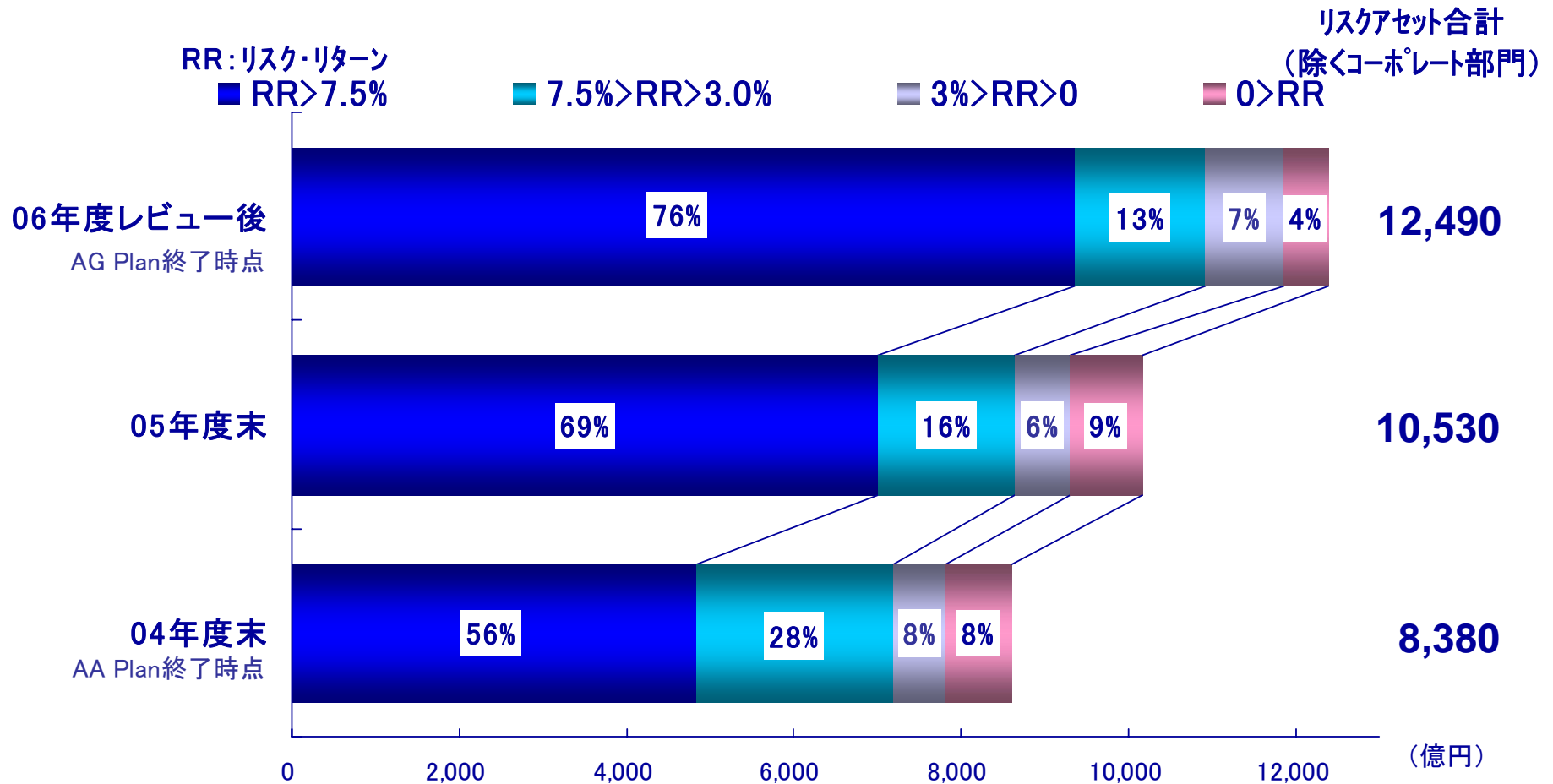
注)リスク・リターンは2年平均

# 4. AG Planの進捗状況 セグメント別リスクアセット/リスク・リターン推移



リスク・リターン:オリジナル計画より向上

# 4. AG Planの進捗状況 リスク・リターン別リスクアセット構成比推移



継続的な体質の改善

## 4. AG Planの進捗状況

### 収益基盤拡大の進捗状況①

#### 【金属】 <グローバルオペレーションの拡大>

- スチールサービスセンターの増設・新設・買収 (年間加工能力:720万トン)
- 鋼管:グローバルベースのサプライチェーンマネジメント(SCM)強化

#### 【輸送機・建機】 <バリューチェーンの拡大>

- 競争優位分野の拡大  
(内外自動車金融事業、海外建機事業、船舶・航空機リース事業)
- 新規事業領域の基盤構築  
(貨車・コンテナ・航空機エンジンリース、自動車部品製造業)

#### 【機電】 <収益基盤の多様化>

- 海外IPP・IWPP:バーレーン、トルコ、フィリピン
- 電力EPC:インドネシア、マレーシア、中東
- 海外通信事業投資:モンゴル、ロシア

## 4. AG Planの進捗状況 収益基盤拡大の進捗状況②

### 【情報産業】 <コアビジネスの強化>

- メディア : ジュピターテレコム、ジュピターTV、  
ユナイテッド・シネマ、アスミック・エース
- ネットワーク : 住商情報システム、エム・エス・コミュニケーションズ
- エレクトロニクス: スミトロニクス(EMS事業)

### 【化学品】 <コアビジネスの拡大>

- 基礎化学品: グローバルネットワーク拡大
- 電子・機能化学品: SCM型原料一括納入ビジネス、排出権ビジネス
- ライフサイエンス: 医療・医薬、農薬、ペットケア事業

### 【資源・エネルギー】 <バランスの取れた上流権益>

- 既存4本柱(銅、石炭、石油、LNG)の増強
- 戦略的資源分野の取り組み(金、ウラン、ニッケル、亜鉛 等)



## 4. AG Planの進捗状況 収益基盤拡大の進捗状況③

### 【生活産業】 <リテールビジネスの拡大>

- 生鮮食品事業(青果、食肉、野菜)
- 食品スーパー事業、ドラッグストア事業
- 新規ブランド事業発掘・育成

### 【生活資材・建設不動産】 <競争優位性を持つ事業の強化>

- タイヤ小売事業への参画(TBC)
- 木材建材事業(ロシア事業、三井住商建材、セブン工業、アイジー工業)
- 複合面開発(オフィス・商業施設・マンション)

### 【金融・物流】 <機能とサービスの高度化>

- コモディティビジネス、直接投資・ファンド投資
- 内外物流ビジネス(住商グローバル・ロジスティクス設立)
- 海外工業団地事業(ベトナム/タンロン工業団地他)

## 4. AG Planの進捗状況 ダイナミックな成長戦略による収益基盤の拡大①

### 選択と集中の継続

#### ■ 継続的な資産入替による経営資源(リスクアセット・人材)の最適配分

##### ■ 経営資源入替推進タスクフォース

- 事業会社の見直し(Exitルール+3つの定性面による評価)  
連結対象会社836社(05/3末)の内、撤退・統合:約200社  
⇒06/3末までに89社削減
- 人材の確保・再配置

## 4. AG Planの進捗状況 ダイナミックな成長戦略による収益基盤の拡大②

### 成長・規模の追求

#### ■ 全社プロジェクト推進・支援(成長戦略の推進・支援)

##### ■ 大型案件の発掘・推進

- 全社的に意義、インパクトの大きい案件  
(ウェブビジネス、資源大型案件等)

##### ■ 重要案件サポート

- 個別案件をきめ細かくフォローアップ  
⇒ 着実な目標達成、バリューアップの実現(TBC、Hartz等)

## 4. AG Planの進捗状況 成長戦略に沿った人材戦略の実行

### 重要な経営課題：人材の確保、育成、活用

#### ■ 新卒採用及びキャリア採用の強化

- 05年度：新卒140名、キャリア43名
- 06年度：新卒156名、キャリア50名程度
- 07年度：新卒170名程度、キャリア50名程度

#### ■ 新人事制度の導入

全従業員が自らの能力を最大限に発揮できる環境を整備

- 若手層の育成重視(入社後10年間)
- 管理職層：年齢概念・昇格概念の払拭
- 若手の登用とシニアの一層の活躍
- 「人材アセスメント」導入(個々人のキャリアアップをサポート)

## 4. AG Planの進捗状況 健全性と効率性の追求

### リスクマネジメントの深化／業務品質・効率の向上

- インターナルコントロールシステムの導入
  - グローバルベースでの「業務品質の向上」
  - 国内299拠点、海外210拠点で「自己評価」実施
- 業務改革プロジェクト
  - アーニングパワーの強化／オペレーションの合理化／牽制機能の強化
- リスクマネジメントの高度化
  - 収益ボラティリティベースでのリスク評価

### コンプライアンス意識の徹底

- グローバルベースで役職員一人ひとりの意識の徹底・浸透

## 持続的な成長を目指して

「収益性」、「成長性」、「安定性」のバランス

「透明性」と「コミットメント」を重視

全てのステークホルダーの「豊かさ」と「夢」の実現  
⇒ 企業価値向上

# Appendix

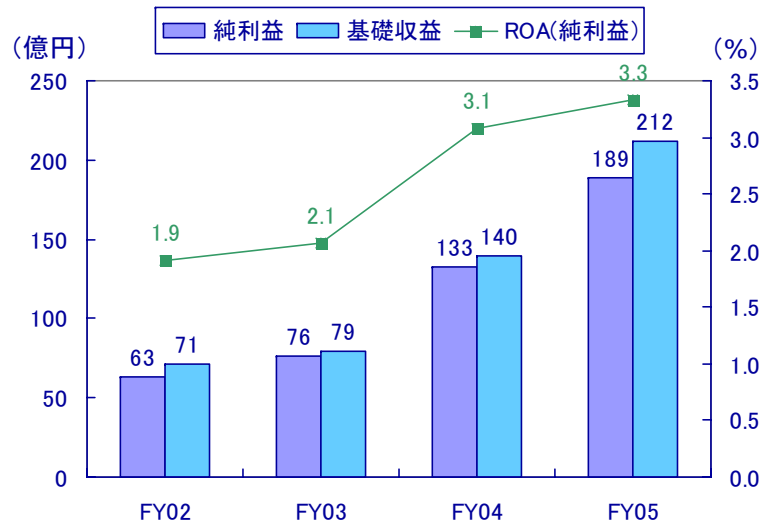
## セグメント別リスクアセット/リスク・リターン計画

	リスクアセット(億円)			リスク・リターン 2年平均(%)	
	05/3末	07/3末計画	07/3末レビュー	07/3末計画	07/3末レビュー
金属	750	1,120	1,110	12.9	19.0
輸送機・建機	1,050	1,650	1,830	11.5	14.2
機電	660	1,020	940	10.0	12.4
情報産業	1,130	1,510	1,510	11.8	12.9
化学品	340	560	540	11.4	14.5
資源・エネルギー	1,030	1,560	1,650	14.0	17.4
生活産業	850	1,150	950	12.0	11.7
生活資材・建設不動産	950	1,060	1,160	10.3	12.4
金融・物流	200	350	470	13.2	17.8
国内ブロック・支社	450	520	530	12.3	11.7
海外現地法人・海外支店	970	1,330	1,800	15.0	20.8
営業部門計	8,380	11,840	12,490	12.3	15.3
消去又は全社	1,070	1,010	1,160	▲10.1	4.7
全社計	9,450	12,850	13,650	10.2	14.2



# 金属事業部門

## 【業績推移】



(億円)

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	372	420	499	654
営業利益	92	124	185	293
持分法損益	19	6	33	41
総資産	3,441	3,904	4,726	6,628

## 【戦略分野】

- ・スチールサービスセンター等薄板関連事業
- ・鋼管SCM
- ・アルミ地金・チタン
- ・自動車関連製品の加工・製造事業
- ・工具鋼加工流通業

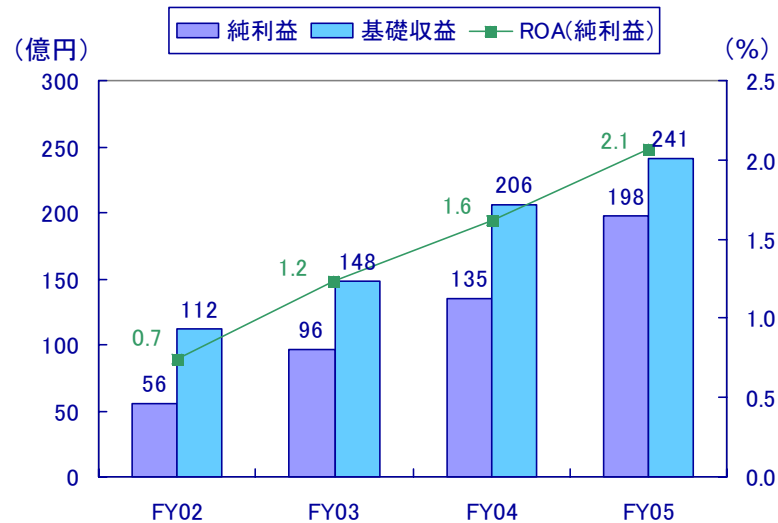
## 【2005年度トピックス】

- ・スチールサービスセンターのグローバル展開  
海外: UAE、ベトナム、中国  
国内: 谷本鐵鋼買収、神戸製鋼所とのJ/V
- ・海底ガスパイプライン用鋼管大量受注  
(カタールLNGプラント向け)
- ・北米での業界最大手のステンレス製品卸売業  
買収(KG Specialty Steel)

スチールサービスセンターの年間加工能力  
海外: 37社 520万トン / 国内: 10社 200万トン

# 輸送機・建機事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

- ・自動車バリューチェーン
- ・建機事業
- ・船舶事業
- ・航空機・輸送機リース

## 【2005年度トピックス】

- ・住商オートリース完全子会社化
- ・新造LNG船の長期定期傭船契約締結
- ・建機レンタル事業の基盤強化(カナダ)

(億円)

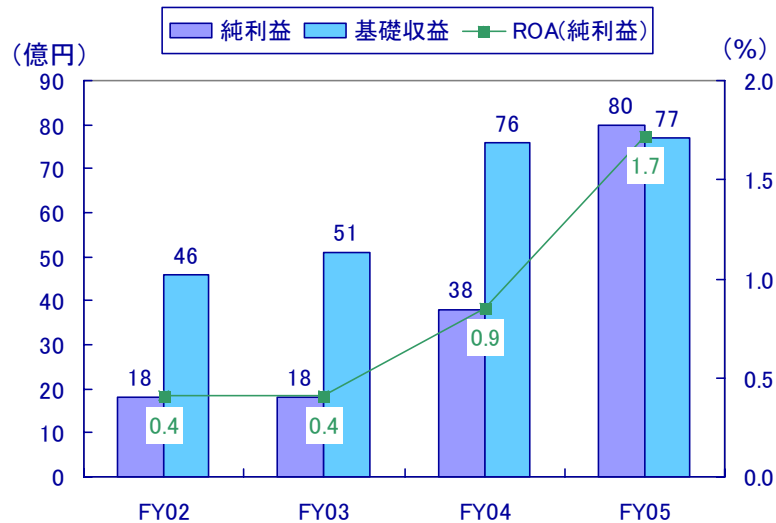
	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	862	986	1,133	1,275
営業利益	167	213	286	337
持分法損益	16	29	38	40
総資産	7,649	7,930	8,715	10,370

### 自動車金融事業

- 国内:住商オートリース23.1万台保有 (国内2位)
- 海外:11カ国で展開

# 機電事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

- ・電力事業投資 (IPP・IWPP)
- ・電力プラントEPC
- ・通信事業投資
- ・環境・省エネ
- ・社会・産業インフラ

## 【2005年度トピックス】

- ・海外IPP/IWPP事業拡大  
バーレーン/ヒッド発電・造水プロジェクト  
トルコ/ビレチック水力発電所  
フィリピン/CBK水力発電所
- ・電力EPC  
マレーシア、インドネシア大型石炭火力発電所
- ・ロシア通信事業参入  
携帯電話向けコンテンツ配信事業、  
無線ブロードバンド事業
- ・エネルギーサービス事業 (広島エルピーダメモリ)
- ・茨城県鹿嶋市: 風力発電所建設着工

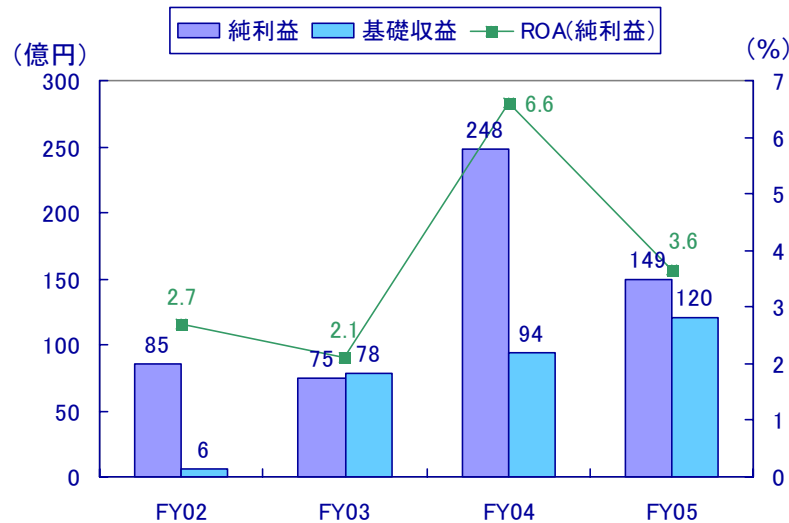
(億円)

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	286	282	322	293
営業利益	43	4	67	36
持分法損益	7	10	13	42
総資産	4,512	4,357	4,574	4,754

持分発電量: 約2,800MW  
(目標: 2010年までに6,300MW)

# 情報産業事業部門

## 【業績推移】



(億円)

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	409	408	441	472
営業利益	52	65	60	37
持分法損益	-19	38	60	103
総資産	3,392	3,750	3,750	4,417

## 【戦略分野】

- ・ケーブルテレビ事業
- ・放送メディア事業
- ・ITソリューション事業
- ・EMS事業
- ・通信・移動体ビジネス

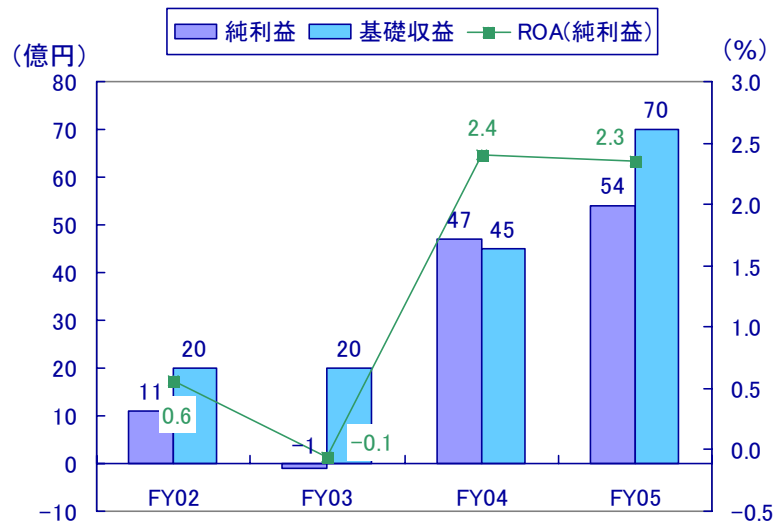
## 【2005年度トピックス】

- ・ジュピターテレコム: M&A推進  
(小田急ケーブルビジョン買収、ケーブルテレビ神戸増資引受等)
- ・ジュピターTV: ショップチャンネル好調
- ・ユナイテッド・シネマ: 日本AMCシアターズを買収
- ・エム・エス・コミュニケーションズ:  
カルソニックコミュニケーションを買収
- ・住商情報システム・住商エレクトロニクスを合併
- ・EMS事業: 中国を中心にアジアでの基盤を強化

- ジュピターテレコム: 総加入世帯数216万世帯(06年3月末)
- ジュピターTV: (12社、17チャンネル)

# 化学品事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

- ・合成樹脂
- ・有機化学品
- ・資源性無機化学品
- ・電子機能化学品、電池材料等の先端技術
- ・医療、医薬
- ・農薬
- ・ペットケア事業

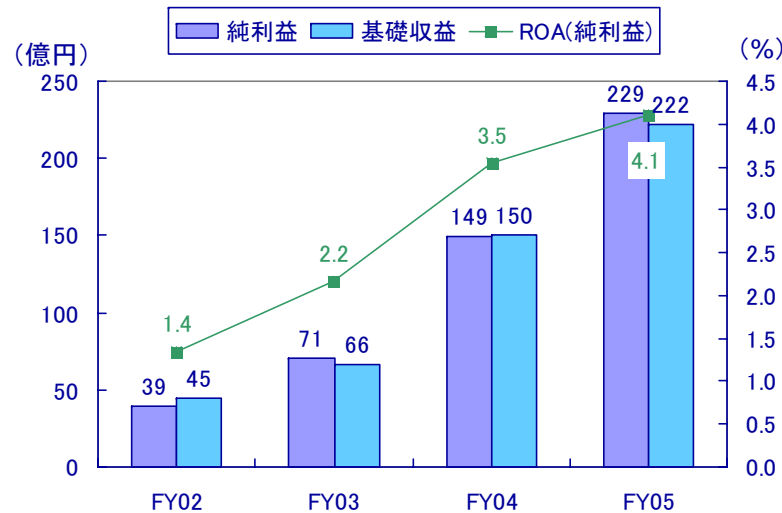
## 【2005年度トピックス】

- ・Cantex業績好調
- ・化学品事業会社3社の再編、統合  
(新生「住友商事ケミカル」の誕生)
- ・石油化学品トレーダー買収
- ・ジェネリック医薬品開発事業投資  
(メディサ新薬に出資)
- ・中国/河南天方薬業に資本参加
- ・Hartz(ペットケア):新商品開発、調達先新規開拓

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	236	228	285	355
営業利益	32	19	71	103
持分法損益	0	9	4	8
総資産	1,865	1,749	2,172	2,432

# 資源・エネルギー事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

- ・銅・金
- ・石炭
- ・石油・ガス
- ・LNG
- ・ウラン
- ・炭素
- ・亜鉛
- ・ニッケル

## 【2005年度トピックス】

- ・チリ銅鉱山事業に資本参加(オホス・テル・サト)
- ・ノルウェー領北海油田開発事業に出資
- ・アラスカ/ポゴ金鉱山生産開始
- ・豪州/ロレンドン炭鉱出荷開始
- ・カザフスタン/ウラン鉱山開発プロジェクト参画

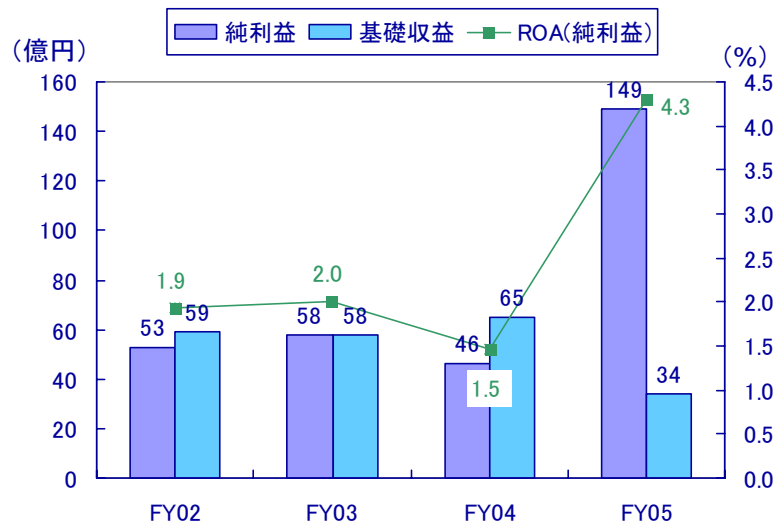
	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	316	271	352	487
営業利益	45	14	86	180
持分法損益	22	60	101	116
総資産	3,095	3,457	4,971	6,182

### <年間持分生産量>

- 銅 : 12万トン
- 石炭 : 500万トン
- 石油・ガス : 800万バレル

# 生活産業事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

- ・生鮮食品
- ・肥料
- ・食品スーパー
- ・ブランド事業
- ・ドラッグストア

## 【2005年度トピックス】

- ・サミット、住商ドラッグストアーズ業績好調
- ・フィリピンバナナ事業拡大
- ・コーチ・ジャパン株式売却
- ・住商エアバッグ・システムズ商業生産開始  
(自動車用のサイドカーテン・エアバッグ用クッション)

(億円)

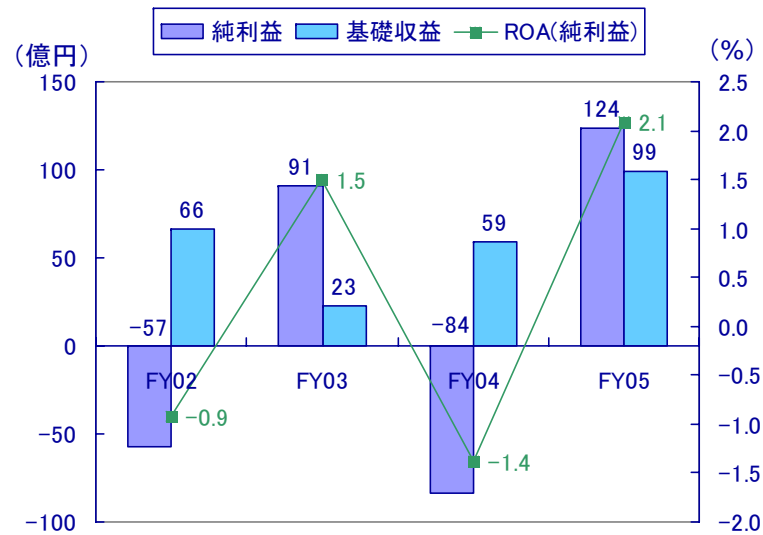
	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	861	904	989	986
営業利益	105	100	124	72
持分法損益	6	4	-3	-4
総資産	2,715	3,046	3,251	3,680

＜06年3月末店舗数＞

- サミット : 81店
- マミーマート : 50店
- 住商ドラッグストアーズ : 70店

# 生活資材・建設不動産事業部門

## 【業績推移】



## 【戦略分野】

### <生活資材>

- ・タイヤ
- ・木材建材
- ・生コン

### <建設不動産>

- ・オフィスビル・商業施設賃貸事業
- ・マンション分譲事業
- ・不動産再開発ビジネス
- ・不動産ファンド

## 【2005年度トピックス】

### <生活資材>

- ・米国タイヤ販売会社TBCを買収
- ・アイジー工業: 金属サンドイッチパネル工場買収
- ・九州地区生コン工場買収

### <建設不動産>

- ・千里中央駅前再整備事業の推進
- ・高層マンション「THE TOKYO TOWERS」販売好調
- ・上海マンション事業への参入

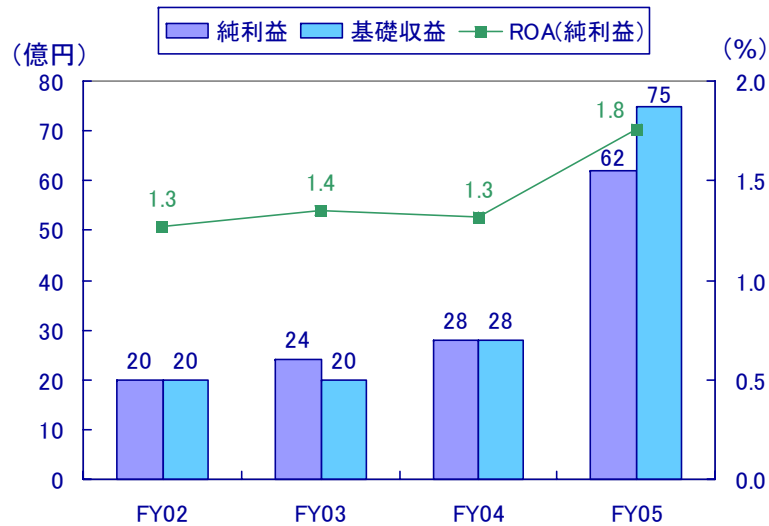
(億円)

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	578	478	387	562
営業利益	183	84	137	191
持分法損益	3	5	8	11
総資産	6,028	6,153	6,061	5,877



# 金融・物流事業部門

## 【業績推移】



(億円)

	FY02	FY03	FY04	FY05
売上総利益	155	157	170	250
営業利益	20	18	22	82
持分法損益	11	11	15	23
総資産	1,615	1,935	2,328	4,708

## 【戦略分野】

- ・コモディティビジネス
- ・投資顧問ビジネス
- ・直接投資・ファンド投資
- ・高付加価値物流ネットワーク
- ・海外工業団地

## 【2005年度トピックス】

- ・直接投資
  - 国内中古ゴルフクラブ販売会社
  - 中国映像広告関連会社
- ・コモディティビジネス
  - 新会社(ロンドン)設立、24時間取引体制整備
- ・物流センター(千葉、上海)新設着手
- ・ベトナム/タンロン工業団地
  - 第2期開発区画完売、第3期拡張工事着手

# 株主構成推移

